

自治体の課題、現状

・本県においても、全国的な傾向と同様に、公立中学校の生徒数は年々減り続けており、働き方改革の進展とあいまって、学校部活動を従前と同じ体制で運営することは難しくなっている。特に中山間地域では部員数が足りず学校単位でチームが組めない場合や、地域の人材不足により、部活動指導員が見つからず、教員の負担は今までと変わらない現状等があり、学校部活動のみでは、教員の働き方改革の推進及び生徒の多様なスポーツ・文化芸術活動の環境が整備できなくなっている。

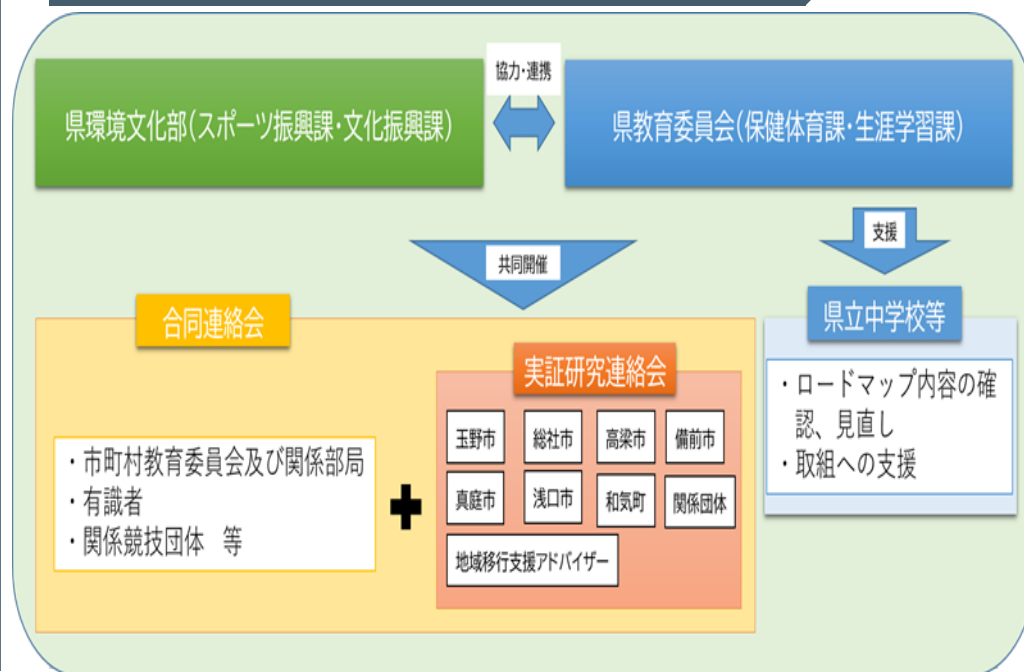
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	33 校	全生徒数	6,167 人
域内の部活動数	198 部	実施した地域クラブ数	20 クラブ
全体の指導者数	67 人	全体の運営スタッフ数	31人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ 行政事務局 民間事業者 スポーツ少年団		
主な種目	軟式野球、バドミントン、サッカー、バスケットボール、ハンドボール、剣道、陸上競技		
平均的な活動回数	○ 1 回～ 4 / 月	年間平均参加生徒実数	3 年：40人/クラブ 2 年：78人/クラブ 1 年：93人/クラブ
参加会費	○100～3千円/年 (一部無料)	主な活動場所	学校施設等

地域移行関連の取組、成果

- ・県主催の会議や自治体の会議等に**地域移行支援アドバイザー**を派遣することで、**モデル自治体や他の自治体へ指導助言を行い、取組の支援**を行うことができた。
- ・地域移行の課題を 5 つの期間に区分し、各期間に生じる**タスクの解決事例**等を実証事業の取組を基に取りまとめた。
- ・モデル自治体による**成果発表会を行い**、好事例を報告することができた。
- ・**指導者研修会を開催**し、指導者の資質向上に努めることができた。
- ・**人材バンクを改修**し、幅広い世代が回答しやすい環境を整備した。

運営体制図



自治体の課題、現状

- ・現在の玉野市の人口は、約55,000人で、人口ビジョンによると、10年後には、人口が5万人を下回る予想となっている。部活動では、すでに単独での大会出場ができない部活動があることから、今後さらに深刻化と思われる。
- ・地域移行の現状については、令和8年度からの休日の地域移行に向けて運営団体の設立を協議しているところである。
- ・地域移行の課題としては、教員、保護者、生徒への説明、受益者負担額の検討、会場確保、生徒輸送手段の確保、指導者の配置、休日の部活動の地域クラブ活動の開始等が挙げられる。

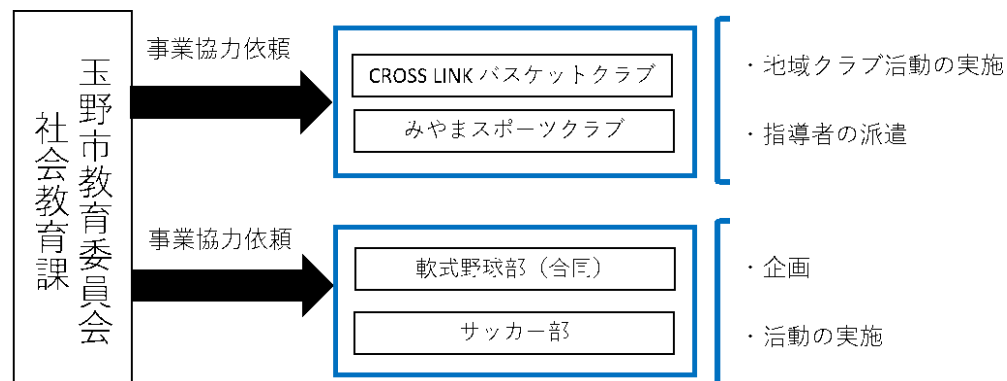
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	7校	全生徒数	1, 105人
域内の部活動数	44部	実施した地域クラブ数	2クラブ(バスケ、陸上) 2部活動(野球、サッカー)
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	7人
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ 民間事業者 部活動		
主な種目	軟式野球、サッカー、バスケットボール		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	中学生：10人 小学生：6人
参加会費	100円/回	主な活動場所	宇野中学校 山田中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・運営団体設立のために、**総合型スポーツクラブを含めた関係団体**で協議を行ったことで、令和7年度の体制を構想することができた。
- ・令和7年度の実証事業の運営体制として、**合同で練習や大会に出場している種目からクラブ化**する。また、全中学校で部活動がある種目について、月2回程度、**年間を通して、練習会を行うことで、クラブ化への見通し**をもてるようにする。
- ・軟式野球の合同練習の一環として、大学の部活動を外部指導者として指導していただいた。**今後の連携先として関係を継続させていく**きっかけとなった。

運営体制図



自治体の課題、現状

総社市では、令和4年9月に総社市部活動地域移行準備委員会を立ち上げ、部活動の地域移行について検討を始めた。令和5年4月に学校部活動の地域移行に関する専門の室を教育委員会内に設置し、同8月に実施した総社市部活動地域移行推進協議会で意見交換を行い「総社市部活動地域移行推進計画」を策定し、市が中心となって地域のスポーツ・文化芸術活動関係団体、大学、企業等と連携し、休日の活動を地域クラブ活動へ移行することを目指している。

<課題>

小規模校で子ども一人一人が自分にあったスポーツを選択できる環境整備、地域指導者の確保と質の保障、学校を含めた地域で活動しているスポーツ団体との地域移行の方針共有と連携強化

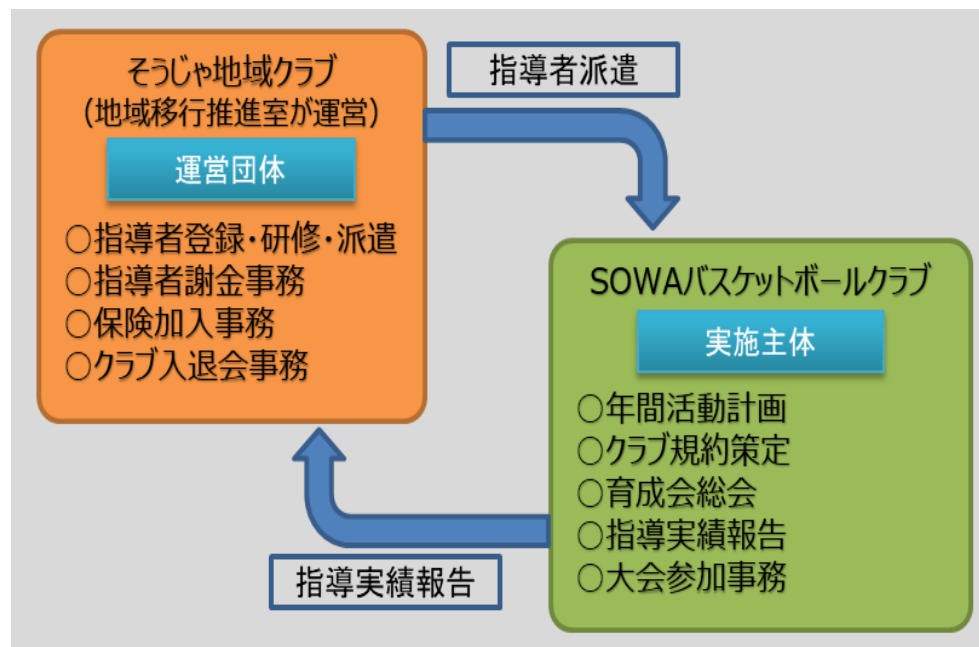
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	4校	全生徒数	1,949人
域内の部活動数	46部	実施した地域クラブ数	2クラブ
全体の指導者数	7人	全体の運営スタッフ数	7人
主な運営団体	そうじゃ地域クラブ (総社市教育委員会事務局が運営)		
主な種目	バスケットボール、ハンドボール		
平均的な活動回数	○4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：5人/クラブ 2年：20人/クラブ 1年：20人/クラブ
参加会費	○徴収に向け検討中	主な活動場所	中学校体育館

地域移行関連の取組、成果

- ・拠点校部活動参加制度を地域クラブ活動への移行のステップに
市内唯一の学校部活動設置種目を拠点校部活動に指定し、市内全域から参加できるものとしたうえで、地域クラブ活動への移行を検討し、期間限定で試行することができた。
- ・学校部活動顧問や地域で活動しているスポーツ団体との意見交換
市の部活動地域移行についての方針共有や地域クラブ活動について意見交換会を実施した。課題意識をもっていた剣道連盟との連携が進展し、指導者派遣の協力を得ることができた。

運営体制図



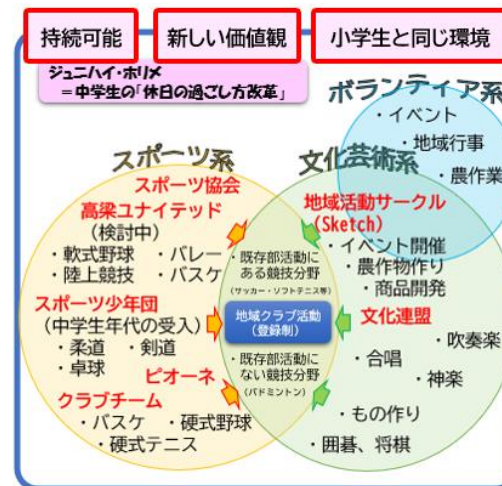
自治体の課題、現状

- ・地域全体の課題としては、やはり少子化による生徒数の減少である。消滅可能性自治体としても挙げられており、令和18年度の新中学1年生は市内で64人となる見込である。団体競技において、単独校ではチームが組めない状況が多くあり、小規模校においては、選択できるスポーツ（運動部）が限定的でもある。
- ・地域移行の取組の現状は、方向性がようやく固まり動き出したところである。ただ、課題は山積しており、財源を恒久的に確保していくことはかなり厳しく、持続可能であるということ、生徒の豊かなスポーツ環境を整えること、この二点を両立させることに知恵を絞っている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

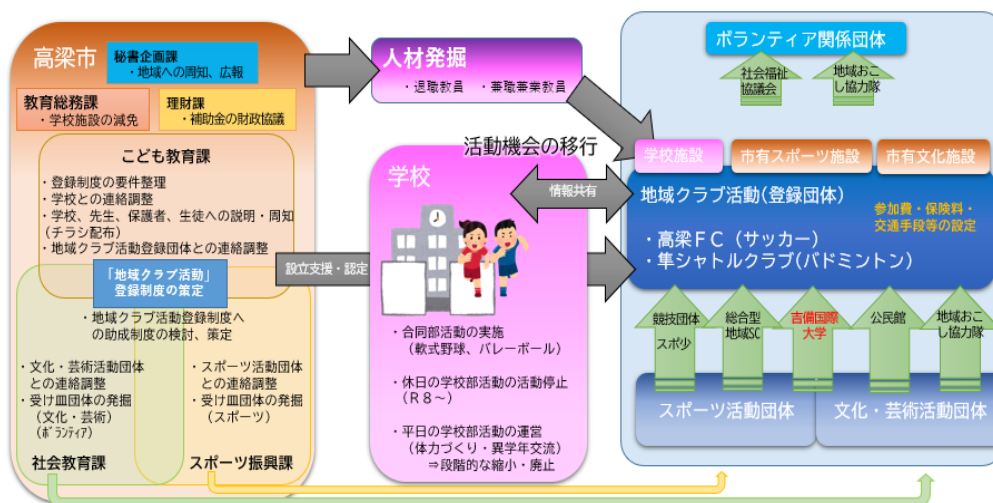
中学校数	6校	全生徒数	527人
域内の部活動数	10部	実施した地域クラブ数	2クラブ (移行中2クラブ)
主な種目	サッカー、剣道、軟式野球、バスケットボール		
平均的な活動回数	16回/月	参加会費	平均 2,000円/年
主な活動場所	各既存団体が通常使っている場所 (市所有施設、学校施設)		

地域移行関連の取組、成果



「新しく団体をつくる」「だれかに指導をお願いする」ではなく、「**既存団体に誘導する**」「**生徒と一緒に活動したい指導者・団体をさがす**」という考え方

運営体制図



自治体の課題、現状

備前市では、少子化の進展により、中学校の生徒数や教職員数が減少しており、部活動は廃部や休部、活動の縮小に追い込まれていく傾向にある。生徒にとっては自分のやりたい部活動がなく、あったとしても少ない部員数であることなどにより活動が低調となり、魅力を感じられない状況となる可能性がある。このため、生徒の部活動離れを引き起こすという悪循環が生じ、部活動が衰退する恐れがある。

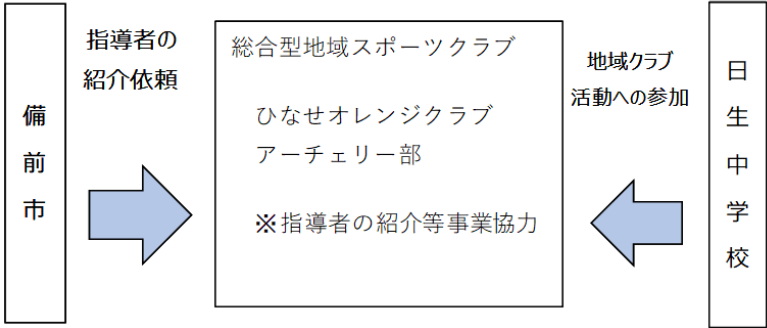
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	5 校	全生徒数	607 人
域内の部活動数	22 部	実施した地域クラブ数	4 クラブ
全体の指導者数	5 人	全体の運営スタッフ数	
主な運営団体	総合型地域スポーツクラブ		
主な種目	アーチェリー		
平均的な活動回数	1回/月	年間平均参加生徒実数	2・3年：50人/クラブ 1年：37人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	市内中学校、体育施設

地域移行関連の取組、成果

現在、地域移行を実施している4種目（アーチェリー、陸上競技、剣道、ソフトテニス）については、昨年度から引き続き、地域移行を継続しており、これまでと同様の活動を続けることができている。

運営体制図



自治体の課題、現状

小学校20校、児童数1,968名（令和7年2月1日）、中学校6校生徒数981名（令和7年2月1日）であり、少子化の影響により、今後の児童生徒数も年々減少していくことが確実となっている。それに並行して、運動部40部・文化部10部ともに部員数が減少し、各校単独での維持が困難になりつつある。また、岡山県内で最も面積が広いこと、合同で部活動を行う場合に、学校や公共施設への移動距離・時間等の課題があり、部活動地域移行については、新たな活動の環境を整備していく必要がある。

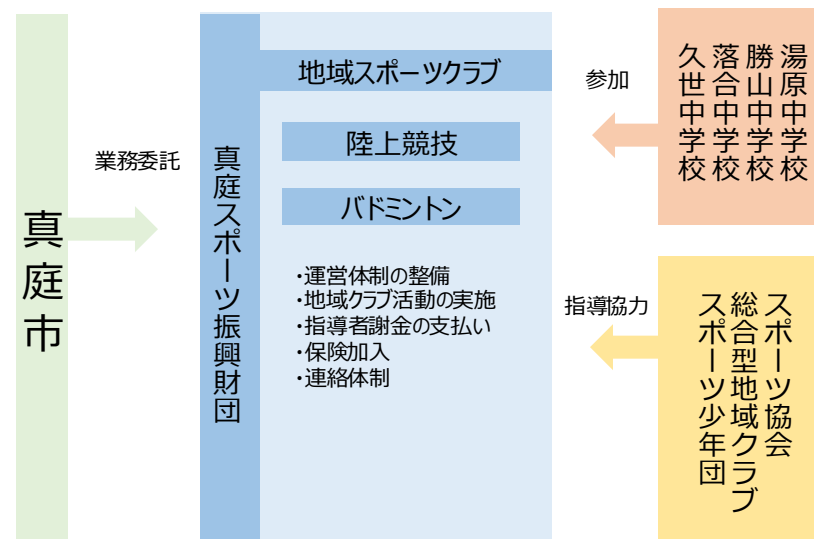
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	6校	全生徒数	981人
域内の部活動数	40部	実施した地域クラブ数	1クラブ
全体の指導者数	19人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	(公財) 真庭スポーツ振興財団		
主な種目	バドミントン、陸上競技		
平均的な活動回数	2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：3人/クラブ 2年：18人/クラブ 1年：20人/クラブ
参加会費	200円/回	主な活動場所	久世中学校、落合中学校、白梅総合体育館

地域移行関連の取組、成果

- ・地域クラブ活動の実施主体を(公財)真庭スポーツ振興財団に委託し、陸上競技、バドミントンを実施したところ、指導者の確保、生徒に対しての事業への参加募集、参加費の集金等をスムーズに行うことができた。学校と指導者、運営団体の連絡体制(日報、生徒の出席状況等)については、Googleドライブを活用して行ったことにより、双方向での確認が可能となった。
- ・検討会議により、地域クラブに関して一定のルールが必要だということから、「地域クラブ活動に関する方針」、「地域クラブに関する認定要綱」を策定する方向となった。(R7.3策定予定)
- ・指導者だけでなくサポーターの人材が必要であることから、「スポーツ・文化人材バンク」を作ることとなった。

運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



自治体の課題、現状

浅口市はH18年に金光町、鴨方町、寄島町が合併して発足し、市内には、3つの公立中学校があり、合わせて738人が在籍している。3つの中学校のうち、1つの中学校では、部活動の種類が多く、12種類もの活動が選択できる反面、小規模校では、4つの活動からしか選ぶことができない。また、現在は、部活動の受け皿となるクラブがほとんどなく、中学生のスポーツ活動は部活動に依存している状態である。まずは、生徒たちが興味関心のある多様なスポーツ・文化活動が取り組めるようにするために、受け皿となる団体の発掘や指導者確保を進めていく。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	3校	全生徒数	738人
域内の部活動数	26部	実施した地域クラブ数	4クラブ
全体の指導者数	9人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	浅口市教育委員会事務局		
主な種目	バレーボール、ソフトテニス、陸上		
平均的な活動回数	1～2回/月	年間平均参加生徒実数	3年：0人/クラブ 2年：10人/クラブ 1年：10人/クラブ
参加会費	100円/1回	主な活動場所	金光中、鴨方中

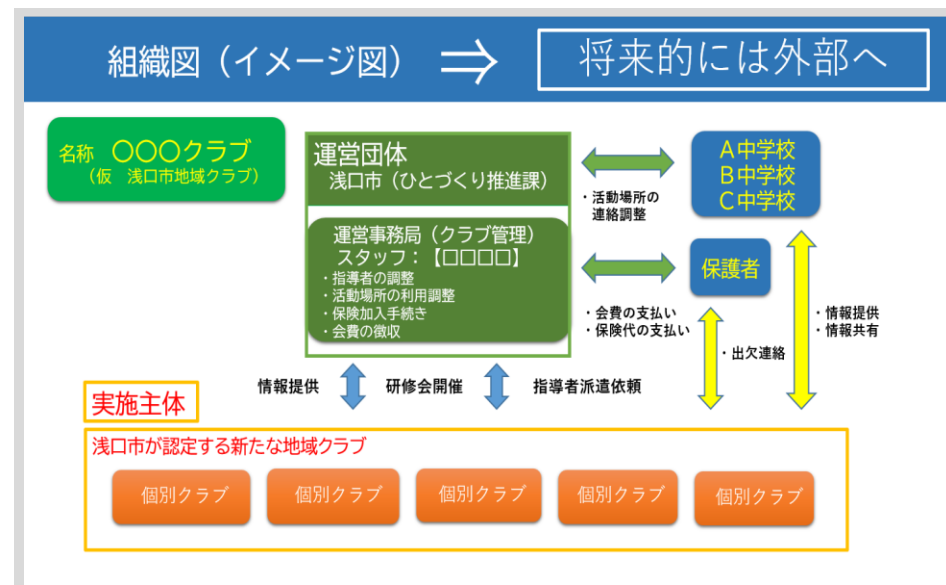
地域移行関連の取組、成果

○浅口市の部活動の在り方や今後の方針を協議するために、部活動地域移行検討委員会を発足し、今年度3回、開催した。また、競技によっては、少人数での分科会を実施し、部活動の顧問や地域指導者の意見を聞くことで、地域クラブの準備を進めた。

○地域クラブの移行が可能な部活動から実証的に休日の活動を行い、課題を整理するとともに、他の活動や今後の在り方について検討をする。

○ロードマップを作成し、見通しをもって地域移行を進めていくとともに、生徒、保護者、教職員等に広報をして、地域展開に向けての準備を進めていく。

運営体制図



自治体の課題、現状

岡山県の南東部に位置する和気町は、「第2次和気町総合計画」のもと、スポーツの振興に取り組んでいる。スポーツを通じた交流や親睦を図るため、各種スポーツやレクリエーションの集いや講習会等を開催する等、ライフステージに合わせた参加機会の拡充が重要となっており、拡充を目指す一環として、**総合型地域スポーツクラブ（和気クラブ）との連携**を進めてきた。

地域スポーツクラブは、**少子化により種目によって存続そのものが難しくなっている中学校部活動の受け皿としても期待**されている。町では**令和4年度、部活動の地域移行に向けた検討委員会を設置し、中学生のスポーツ・文化芸術環境づくりについて**以下に示す内容について検討・協議を重ねている。

地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	2校	全生徒数	260人
域内の部活動数	運動部13部活 文化部3部活	実施した地域クラブ数	5クラブ
全体の指導者数	13人	全体の運営スタッフ数	11人
主な運営団体	総合型地域スポーツ和気クラブ 和気町スポーツ少年団		
主な種目	陸上競技、ソフトテニス、バスケットボール、バドミントン、剣道、コーディネーション・トレーニング		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：4.4人/クラブ 2年：2.2人/クラブ 1年：3.4人/クラブ
参加会費	3,000円/年 500円/1回	主な活動場所	和気町体育館 小・中学校運動場

地域移行関連の取組、成果

- 大学との連携による支援（トレーニング同好会、トレーニング・クリニック）**
平日の部活動の移行の試行として、15回以上実施。「ゲーム的な活動しながら、知らず知らずのうちに体を正しく動かすことを学ぶことができた。」との声。
- 指導者研修会（顧問弁護士による「地域移行に関わる法的責任」）**
部活動の事故事例、法的責任及び誰が責任を負うのか、指導者の安全配慮義務等について事例を交えて研修。
- 東備地域情報連絡会の設置と定期的な情報交換の場の確保**
各自治体で行ったアンケート等の様式の共有、地域スポーツクラブ主催行事の情報提供、2か月に1回程度の情報交換会の継続を確認。

運営体制図

